

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-20 <input type="checkbox"/> 支援部門		交通体系整備事業				
主管課	交通政策課	関連課					
分野名	総合交通						
目標 (目標値)	古都鎌倉の歴史的環境の保全を活かしつつ、交通体系の改善に向けた取組みを推進する。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	16,751	5,115	4,227			
	(国・県)	8,333					
	(負担金等)						
	(一般財源)	8,418	5,115	4,227			
	人員配置数	2.6	3.6	3.0			
	人件費(千円)	22,223	32,349	28,506			
事務事業運営経費	協働のパートナー	交通事業者 交通管理者	交通事業者 交通管理者	交通事業者 交通管理者			
	総事業費(千円)	38,974	37,464	32,733			
市民1人当りの経費(円)		220	212	185			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
ノンステップバス導入における補助	◎	目標値	4	0	4	4	
		実績値	4	0			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。							
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。							
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止					
交通体系整備事業	16,751千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	△	④公平性	○	⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要	「鎌倉市交通政策研究会」の調査研究を基に、歩行・居住環境の向上を図り、安心して歩ける歩行者専用道路の整備実現に向けて「今小路通り歩行者専用道路整備計画(案)」策定を行った。西鎌倉駅のバリアフリー化を図ると共に、駅周辺の連続的な通行の安全を図るため、施設整備を含め関係機関と調整を行った。									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E
	事業の概要										

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	今小路通りの交通社会実験結果を踏まえ、今小路通り歩行者専用道路整備計画(案)策定を行う。西鎌倉駅舎バリアフリー化及び周辺施設整備を目指す。北鎌倉駅バリアフリー化について、地元住民・JRと協議調整を図る。
課題解決のための取組	今小路通り専門部会において今小路通り歩行者専用道路整備計画(案)をまとめ、市長提言を行った。西鎌倉駅バリアフリー化工事が完成し、新駅舎が平成23年3月オープンした。歩行者横断用信号機が設置され、県道の歩道改修が実施された。
未解決の課題	北鎌倉駅バリアフリー化工事中において、埋設物調査の必要や東日本大震災の影響により、全体スケジュールが変更になった。
今後の方針	駅施設のバリアフリー化は、今後も計画的に取り組んでいく。鎌倉地域の地区交通計画等の見直し作業に着手していく。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ <b>C</b> ※ <input type="checkbox"/> 事業完了 課長名 交通政策課課長代理 宮崎 隆

